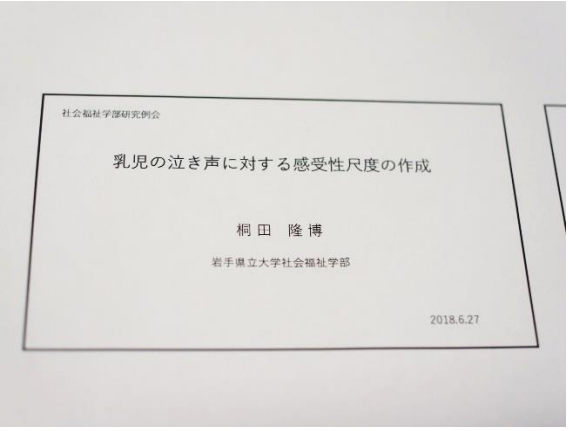
2018 年度第 1 回研究例会

日時：2018 年 6 月 27 日（水）16:20~17:50
会場：社会福祉学部棟 301 講義室

＜第 1 報告（新任教員の研究内容紹介）＞
報告者：伊藤隆博講師
題名：「大規模災害に対する災害拠点病院の医療ソーシャルワーカーの役割と課題」

本年 4 月に社会福祉学部に着任された新任の伊藤隆博講師より、これまで伊藤氏が研究及び実践に関わってこられた災害ソーシャルワークについて、ご報告を頂いた。特に今回は、伊藤氏の調査した、大規模災害時の病院における医療ソーシャルワーカー（MSW）の働きに関して詳細な説明が行われた。他専門職に比し MSW には「援助」よりも「調整をこなす」という働きが期待される傾向があるとされ、この点に関し活発な議論が行われた。

＜第 2 報告＞
報告者：桐田隆博教授
題名：「乳児の泣き声に対する感受性尺度の作成」



桐田隆博教授より、研究成果に関する報告を頂いた。福祉・看護・幼児教育等を専攻する大学生及び短大生約 300 名に対して桐田氏が実施した質問紙調査の結果をもとに、乳児の泣き声がもたらす不快度を抑制する因子等に関して、説明が行われた。